

令和6年7月16日（火）
北野高校 学校運営協議会

令和6年度 第1回北野高等学校運営協議会議事録

1. 日時 令和6年7月16日（火）14：30～15：40

2. 場所 校長室

3. 出席者 【委員】

PTA副会長

大阪大学量子情報量子生命研究センター特任教授

京都大学大学院教授

六稜同窓会事務局長

六稜同窓会学年理事

大阪市立新北野中学校校長

【事務局】

校長、教頭、首席2名、教務部主任、進路部主任、指導部主任

記録2名

4. 議事次第

1. 校長挨拶

2. 委員自己紹介

3. 事務局の紹介

4. 協議会会長・副会長の選出

5. 授業参観に対する意見・感想

6. 事務局より今年度の報告

7. 協議・意見交流

5. 議事の経過

1. 校長挨拶

自己紹介

奇譚のない意見をいただき、北野高校を発展させるべく一助とさせていただきたい。

2. 委員自己紹介

3. 事務局の紹介

4. 協議会会長・副会長の選出

会長 PTA副会長

副会長 京都大学大学院教授 を任命（教頭）

5. 授業参観に対する意見・感想

・マイクの使用は臨場感にける気がするが、生徒が納得していればいいのではないかな。
テンポよく、工夫されている授業が見られた。

・程よい授業だった。プロジェクターうまく使うなど、こなれてきている感じがした。
見たのは5分10分なのですべてがわかるわけではないが、板書をたくさんしたほうが
とも感じた。昔に帰った気分。

- ・全容を把握するのは難しいが、理解の過程を見せるなどプロセスを工夫している。刺激を受ける。
- ・4限が体育で寝ている子もいた。ユニークで特徴のある説明や授業が見られた。1年を通してみれば力のつく授業だろうと思う。隣とのディスカッションやコミュニケーションをとりながらなど、いい感触の授業だった。

6. 事務局より今年度の報告

【校長】

〈学校経営計画について〉

昨年度までのものと大きく変えてはいない。発展は目指しているが、計画は変えていない。令和5年GLHSで進学実績は評価いただいたが、英語の資格取得やコンテスト等の入賞実績が今ひとつの評価を受けた。

北野高校には横断幕がかかっていない…唯一無二。北野の良さ、高いところを目指している表れだと思う。

3年のこの時期だと他の進学校では問題演習が中心になるが、類推する授業、教材研究の深さを感じる。（校長）

＞コンテストについてどう考えるか？（阪大特任教授）

＞他校では支援がないと課題研究が進まないため、実績作りが大切だが、北野にはその必要がない。OBからの支援のおかげ。

ネタを与えるのが高校であって、生徒たちのやりたいことをすればいい、コンテストに無理に出す必要はない。（校長）

＞評価システムについては、すれ違うことも多い。体育などは国からもいろいろとありやりにくさを感じるだろうが、北野ではそうならないように願いたい。（阪大特任教授）

＞校長の考え方に同意。ディスカッションの際に、みんなが同様に言えるのが大事。基本的な人間力を見ていただく。（京大教授）

【教務部】

教科書採択については例年通り。6月5日に採択の流れ説明（第1回）その後各教科での話し合い（第2回）を経て、7月6日教科代表者会議（第3回）で教科書の採択を確認。新カリで揃うのが今年度。使いやすさなどで様々な視点で選定をし、例年通りの採択がされている。

第2中間考査終わり、採点のデジタル化の動きがみられている。入試に向けての動きやICT変更については次回以降で報告の予定。

（校長の話した）英語資格については、英語としては推していない。多くの生徒が英検2級は中学校で取得済み。個人で他の資格を受けている子はあるが、「この試験」として課してはいない。

＞デジタルのテストの懸念は？（阪大特任教授）

＞「百問繚乱」の説明。スキャナーで答案を読み込むため、物理的な課題（汚れなど）や設定に時間がかかるなどの課題がある。採点業務自体は楽になったという声も聞いているが、別の手間が増えている面も。クラスルームでの返却する先生もいるが、誤送信などに気をつけている。府立高校で課題を共有する必要がある。（教務主任）

【指導部】

元気に登校している。6月までの遅刻は昨年度と変わらず。例年、ここから増加傾向がある。リズムを崩す、悩みを抱える、生活習慣が乱れる生徒が増えていくことが考えられる。他校のような回数による指導をしていない。来たいけれども来られない生徒もあり、配慮している。11月に遅刻生徒に話を聞く遅刻習慣の実施を予定。生徒の声に耳を傾けることを意識している。今後、行事が目白押し 人間関係の摩擦もあるが成長を見守りたい

＞六稜クラブの使用状況は？（同窓会事務局長）

＞クラブ員中心に活用している。開けたサロンのイメージはセキュリティの問題でいまだ実現せず。常駐の教員がいればとも考えるが。生徒らは喜んで使用している。（指導部主任）

＞制服に関してどのような意見がある？（同窓会事務局長）

＞上級生からは「新制服がよかった」という生徒もいる。変えて悪いという声は耳に入っていない。（指導部主任）

＞悩みを抱えた生徒への対応について。カウンセラーの活用や先生の関りはどうか？（同窓会学年理事）

＞府教委から月に1回、学校から週に1回スクールカウンセラー。予約はいっぱい。1日中フル稼働。カウンセラーにつなげるまでの過程…担任・クラブ顧問などいろいろな先生が入口となっているが、長時間勤務の一因にも。できるだけ多くの生徒を救いたいという先生が多いので成り立っている。

＞支援委員会を年5回行っており、課題を抱えた生徒について情報を共有し、支援の方法について検討している。（首席）

＞支援委員会の内容は校長も共有している。（校長）

【首席】

海外研修の状況…昨年度辺りから今まで通りに。

ケントウッドは相手校の都合でできなかったが、ケントレイクとは実施した。

デンマークとの交流が始まった。課題研究でデンマークとの比較をテーマに選んだ生徒が3月に派遣され、4月に受け入れた。

台湾の高校が頻繁に来校した。来週から台湾研修で、来校した学校に訪問も。20数名が参加。教頭も引率。

デンマーク研修とホスト受け入れを7月に案内。3月に訪問。

ほぼ、コロナ前に戻ったので、この形で数年はやっていくと思う。

＞生徒の研修の応募状況や海外志向は？大学でも内向きが多いが。（京大教授）

＞コロナで止まっていた昨年度は特に多かったが、今年は落ち着いた。自己負担が増えているが、意外にいる印象。様々な支援がある。（首席）

＞研修後の変化は？（京大教授）

＞海外の進学に対する自信がついたとの生徒の声も。（首席）

＞海外の大学の実績があれば、グローバルという評価も得られるのではないか。（京大教授）

＞大口の支援制度もあるが、公立校からの応募は少ない。2年生に一人、海外に興味を持った生徒があり、グローバル塾にも参加している。他にも、インターナショナルカレッジへの転入を考えている生徒もあり、その生徒は孫正義の奨学生に選ばれている。（校長）

【進路部】

東大・京大などの進学実績の報告（現役・既卒性・合計）。

東大が20名を超えたのは初めて。医大・医学部入学者も増えた。

校内模試は年通り。昨年度、第3回校内模試の業務委託を検討、やり取りをしたが、本校でこれまで通り行うこととした。次年度以降については検討中。

進学希望調査の結果報告。東大10名京大150名など。医学部34名。

＞女性枠のブームに関する生徒の反応や指導についてはどうか？（阪大特任教授）

＞特に本校としては男女を分けてはいないが、オープンキャンパス等の案内はしている。

「女性だから」ではなく、1年生からやりたいことを探すような指導をしている。（進路部主任）

＞進学先に関して、学校としては何かあるか？（同窓会事務局長）

＞1年9月「知的世界への冒険」2年10月「学部学科ガイダンス」で将来について考える指導を行っている。特に大学名を上げた指導はせず、何をしたいか、何の研究がしたいのか、大学は通過点、といったことに力を入れている。本当に自分がしたいこと、それが達成できる大学を選びなさいと言っている。

＞校内模試の業者委託の障害は、今後は？（同窓会学年理事）

＞金銭面の問題と、北野教員が作問に携われるかが課題。お互いの検討を想定していたが、業者の作ったもののベースに、選ぶだけになりそうだった。やり取りができないまま、無理矢理の採用は見合わせた。業者の手応えは厳しいが、教員の声も踏まえて、時期や方法について検討していく。（進路部主任）

＞先生の負担減のために始まった議論だが慎重にしていきたい。（同窓会学年理事）

＞業者は北野1校ではもうけにならない。GLHSを巻き込もうとしている。（校長）

【その他】

（委員長）

一人の母として、先生と生徒で情報の共有ができていなかったと感じる場面があった。

クラブの外部指導員の方は教育目標について共有できているのか？

デンマークの研修参加者（本校）と受け入れた生徒（デンマーク）の意識に差を感じた。

＞部活の外部指導は部活の指導のみをお願いしている。パワハラなどで指導が不適切であれば、校長から指導する。学校の教育目標を伝えることはしていない。必要なことは伝えるが、見てくれるだけで感謝している状況。

・学校への意見書の提出はない。（教頭）

・次回は11月の予定。（教頭）